

平成 29 年 10 月 30 日

兵庫県知事 井戸 敏三 様

県立都市公園指定管理者候補者選定委員会
委員長 平田 富士男

淡路佐野運動公園の指定管理者の管理運営状況に関する評価について

県立都市公園指定管理者候補者選定委員会（以下「委員会」という。）は、県立都市公園指定管理者候補者選定委員会設置要綱第 2 条 2 項に基づく標記公園の指定管理者の管理運営状況について評価を行った。

県は、指定管理者が実施した自己評価結果を的確に分析したうえで評価を行うとともに、指定管理者の管理運営に係る提案内容と実施状況について、年度報告書等の書面の他、現地調査やヒアリングで確認を行い、指定管理者が適正に公園の管理運営を行っているとは評価した。

今般、本委員会は県の評価内容を書面、現地での調査およびヒアリングで確認した結果、県による評価は妥当であると判断した。

しかし、県においては、今後も引き続き指定管理者による適正な管理運営が図られるよう、県の指摘した事項について指定管理者に確実に実施させる等、さらなる監督・指導に努められたい。また、県は、一連の評価結果をより良い指定管理業務の改善等につなげるための方策を引き続き検討されたい。

(参考)

県立都市公園指定管理者候補者選定委員

氏 名	役 職	備 考
平田 富士男	兵庫県立大学大学院教授	委員長
赤澤 宏樹	兵庫県立大学准教授	
宇田 名保美	(一社)兵庫県中小企業診断士協会 元常任理事・女性部会長	
宮前 保子	(公社)日本造園学会関西支部 元支部長	
出野上 聡	兵庫県県土整備部まちづくり局長	

淡路佐野運動公園の指定管理者の管理運営に関する評価

本公園は、淡路地域におけるスポーツ・レクリエーション及び健康の維持増進等を図る運動施設の拠点として、野球場、サッカー場、多目的グラウンドが整備された、県立都市公園として唯一の運動公園である。全国・県大会レベルの公式大会の開催や「2002年 FIFA ワールドカップ」でイングランドチームのキャンプ地として利用される等の実績がある。

管理運営にあたっては、各種スポーツ大会の開催や合宿利用等の支障がないよう芝生グラウンドを良好なコンディションに保つこと、休日に比べ利用率が低い平日の利用促進を図ることとしている。

県は、上記の特性を踏まえつつ、以下のとおり指定管理者の管理運営に関する評価を行った。

評価項目	視点	書類等
施設維持 管理業務	管理水準を満足しているか 提案内容を適正に実施しているか 利用者の満足度	事業報告書、自己評価報告書 土木事務所による現地調査 管理運営協議会委員へのヒアリング 公園利用者アンケート
運營業務	提案内容を適正に実施しているか 提案の目的に沿った事業を実施しているか 利用者の満足度	指定管理者へのヒアリング 管理運営協議会委員へのヒアリング 公園利用者アンケート
利用状況	利用促進が図られているか	事業報告書、自己評価報告書 指定管理者へのヒアリング
収支状況	収入に見合った支出となっているか 経費削減に取り組んでいるか	事業報告書、自己評価報告書
運営体制	適切な人員配置となっているか 利用者の満足度	指定管理者へのヒアリング 管理運営協議会委員へのヒアリング

1. 評価項目毎の評価

(1) 施設維持管理業務

本公園は、全国・県大会レベルの公式大会が開催され、高水準のグラウンド管理が求められることから、永年に亘り他公園の運動施設の管理をしていた経験豊富な職員が配置されている。施設利用者アンケート調査においても非常に高い満足度である（「施設の管理状態」について「満足」「やや満足」が平成 28 年度は 92%、平成 27 年度は 97%、施設の良かったところとして「グラウンドの芝や土が良い」という項目で 85%）。また、海外チームの合宿時やキャンプ誘致の視察の際にも、グラウンド（芝）の状態が非常に良いとの高評価を得ている。

別途、管理運営協議会委員にヒアリングを行った結果、グラウンドの維持管理はしっかりやっている、今後も引き続き夏場の高温時には散水の頻度を増やす等、状況に応じた維持管理を行って欲しい、との意見をj得ている。

利用者に不快感を与えないよう、土日や大会開催後等は重点的に清掃する等、利用状況に応じて効率的に清掃業務を行い、園内の快適な環境を確保している。なお、施設利用者アンケートでも満足度が高い。「公園内の清掃」の「満足」と「やや満足」を合わせて88%)

一方、臨海部の特性を生かし、眺望が求められるエリアにおいてはビューポイント剪定を行う等、メリハリのある樹木管理を行うという提案があったが、現状、樹木が繁茂し眺望が望めないことから剪定頻度の見直し等、改善の余地がある。

(2) 運營業務

本公園では、運動施設の利用だけでなく、多様な利用、幅広い年齢層に公園を利用してもらえるよう利用促進に努めている。子どもを対象としたミズノの運動指導員による「運動会必勝塾(走り方教室)」、「跳び箱」「鉄棒」などの苦手克服教室では、短時間で効果が得られる等非常に好評で参加者が毎回増加している。

一方、様々なイベント・プログラムを実施しているものの、公園利用者アンケートでは公園の情報発信の充実度の満足度が低く(「満足」と「やや満足」を合わせて64%)、別途管理運営協議会の委員からも意外と地元の人に知られていない、との意見をj得ており、情報発信の手段について検討を行う必要がある。

(3) 利用状況

女子プロ野球試合、プロ野球ウェスタンリーグの他、新たにミズノスポーツフェスタの開催等により利用促進に取り組み、平成26年度以前(指定管理者公募前)に18~19万人で推移していた来園者数は、平成27年度21.2万人、平成28年度20.6万人と目標年間利用者数21万人をほぼ達成している。

明石公園、三木総合防災公園等、県下の運動施設においてグラウンド整備作業を除く全ての休日を中心に利用調整を行うことにより、休日の運動施設の利用はほぼ空きが無い状態であり、本公園の平成28年度の休日の稼働率は95%と非常に高い。一方、平日の稼働率46%であり、春・夏の学生が休暇中の平日では安定した利用があるものの、冬期や学校がある期間の平日利用には改善の余地がある。部活動の練習場として、平成27年度は島内延べ29中高等学校、平成28年度は延べ54高等学校が利用しているが、更なる平日利用の促進に取り組む必要がある。

(4) 収支状況

上記(3)記載の利用状況の向上に伴い、目標利用料金収入11,906千円に対し、平成27年度は12,535千円、平成28年度は13,436千円と目標を大きく上回った。その分、スタッフの増員や、イベントの内容の充実、園内の維持修繕に充てる等、利用者サービスの向上に還元している。

植栽管理や運動施設管理等において、可能な限り職員による直営作業を行うことにより、経費削減に努めている。

(5) 運営体制

当公園は、本格的な運動施設を有するため、高水準のグラウンド管理を行う必要があること、運動施設利用以外の利用促進を図る必要があることから、公園管理運営士、体育施設運営士・管理士、3級芝草管理技術者を配置する等、円滑な運営・維持管理業務を行っている。

淡路市地域防災計画に「広域避難地」として位置づけられていることから、各種訓練の実施や警察・消防等と連携した防災フェアの開催等関係機関との連携を強化し、非常時の体制を構築している。

別途、管理運営協議会委員にヒアリングを行った結果、大会開催時において開園時間外（早朝）に施設開放の対応をいただき助かっているが、大きな大会になればなるほど早朝からの準備がいるため、更なる早期対応をお願いしたい、との意見があった。

2. 総合評価

上記1を確認した結果、現指定管理者は、概ね適正に公園の管理運営を行っているとは評価できる。なお、評価作業の過程で、以下のような課題が抽出されたので、これらの点については、今後の検討を求める。

【抽出された課題】

課題	対応方針
ビューポイント剪定による景観の向上	松枯れの影響も考慮しつつ、指定管理者は公園管理者と今後の対応方針について引き続き協議のうえ、出来る限りの改善策を講じる。
効果的な情報発信の手法	島内周知を促進するため、指定管理者は必要に応じて公園管理者に協力を求めながら、地元3市と連携した更なる広報の強化を図る。